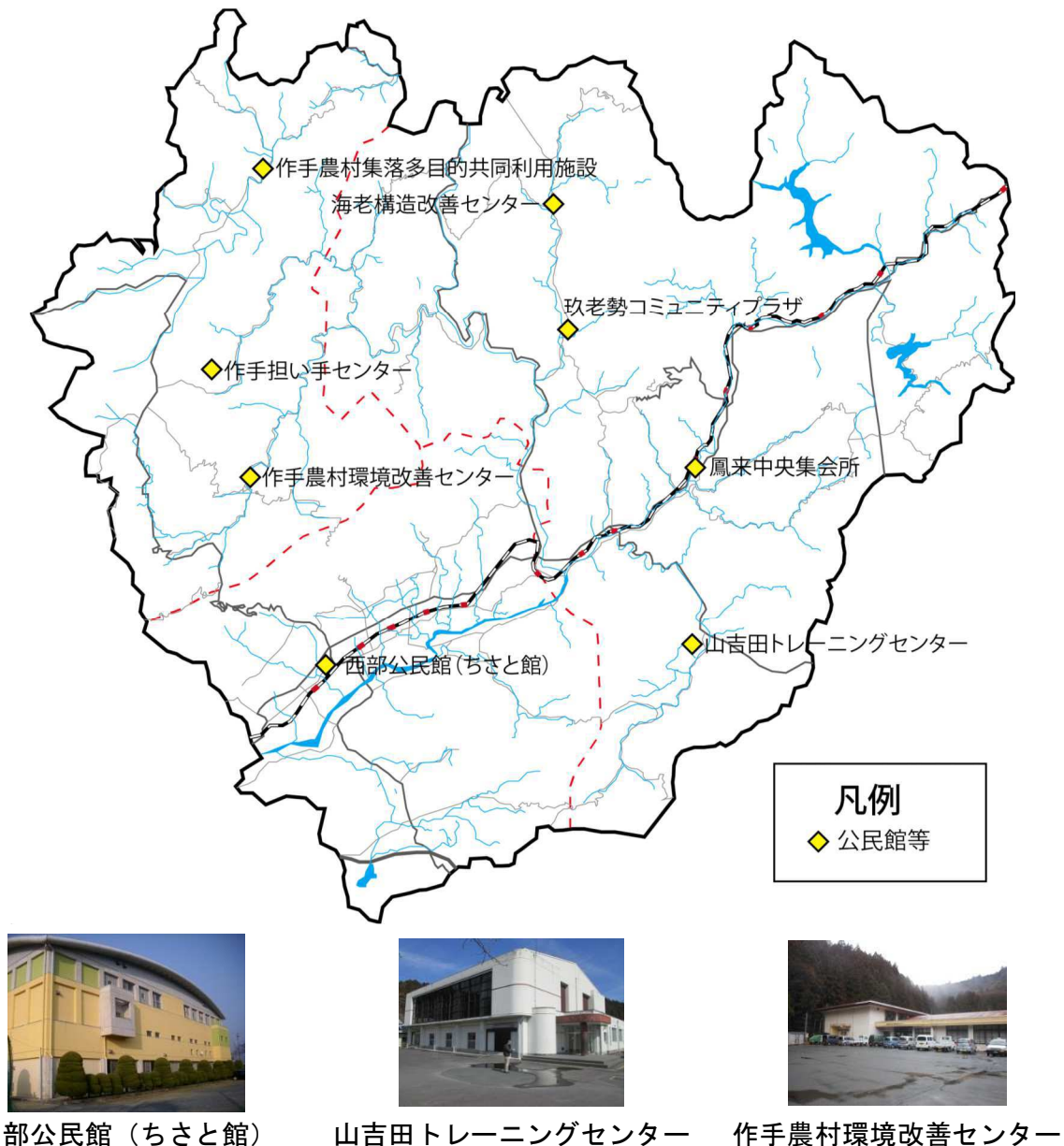


### 3-7 公民館等

#### (1) 配置状況

- ・公民館は、社会教育法に基づき市が設置している社会教育施設で、地域における生涯学習、学術及び文化に関する各種事業を行うほか、住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する場として設置しています。また、コミュニティプラザ等のその他の施設も、同様に地域の生涯学習拠点の一つとして活用されています。
- ・山吉田トレーニングセンターは、農業の担い手を中心とする地域生産組織がスポーツ活動を通じて体力増進及び健康維持管理を行い、農業者と地域住民との連帯感の醸成を図るための施設です。作手農村環境改善センターは、農村生活の改善、農村地域社会の連帯感の醸成のために利用されています。

図表 3-48 配置状況・外観写真（公民館等）



### 3-7-1 公民館等

市内には、以下一覧の公民館等があります。

ここでの現況と課題の整理にあたっては、行政区等への移管を進めている施設など、保有・運営形態が変わる予定のある施設は対象外とします。

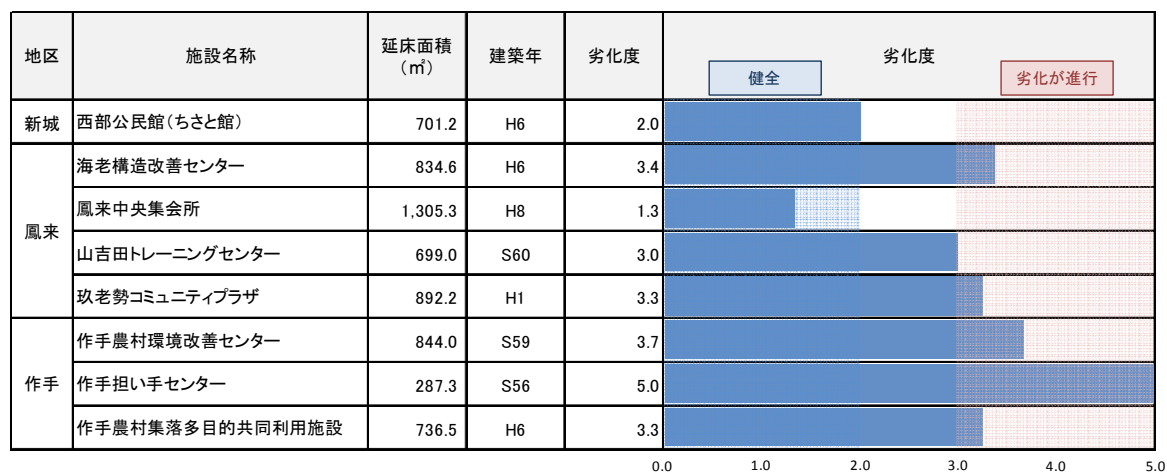
図表 3-49 公民館等一覧

名称	場所
西部公民館（ちさと館）	新城市杉山字道目記 24
大島集会所	新城市長篠字大島 23 番地
寺林公民館	新城市富栄字上貝津 33 番地
大峠集会所	新城市富栄字下り道 3 番地
引地公民館	新城市豊岡字細筋 17 番地 3
玖老勢コミュニティプラザ	新城市玖老勢字藪の内 12-3
長楽集会所	新城市玖老勢字森下 18 番地
海老構造改善センター	新城市海老字千原田 5-1
山吉田トレーニングセンター	新城市上吉田字山本 2-2
鳳来中央集会所	新城市大野字久羅下 39-2
名号集合会館	新城市名号字袋林 2
名号集会所	新城市名号字袋林 6 番地 1
七郷一色コミュニティプラザ	新城市七郷一色字西貝津 26-2
作手中央老人憩の家	新城市作手高里字木戸口 63
作手介護予防拠点施設	新城市作手高里字西ノ内 20. 21
作手農村集落多目的共同利用施設	新城市作手菅沼字マンゼ 18
作手担い手センター	新城市作手鴨ヶ谷字門前 25
作手農村環境改善センター	新城市作手高松字柿平 9-7

## (1) 劣化状況の把握

- ・海老構造改善センター、玖老勢コミュニティプラザ、作手農村環境改善センター、作手担い手センター、作手農村集落多目的共同利用施設の劣化が顕著となっています。
- ・作手担い手センターは、新耐震基準に応じた補強等が行われておらず、劣化度が 5.0 となっています。
- ・鳳来中央集会所は比較的良好な状態を維持しています。

図表 3-50 劣化状況（公民館等）

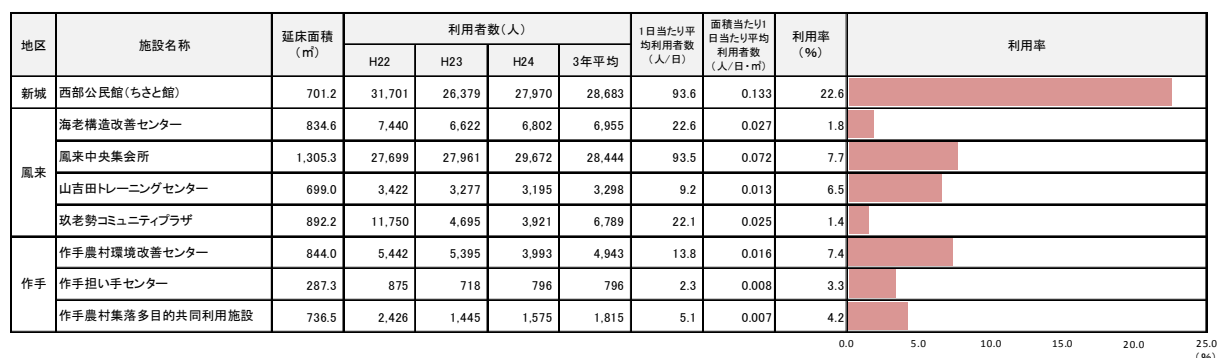


※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物を基に記載しています。  
 複数の建物で構成されている施設の劣化度は、各棟の劣化度の延床面積加重平均を基に記載しています。  
 劣化診断は、平成 25 年度に実施しています。

## (2) 利用状況の把握

- ・西部公民館（ちさと館）利用率が相対的に高いものの、その他の施設はいずれも数%から 10%程度と非常に低い状況にあることが分かります。

図表 3-51 利用状況（公民館等）



※利用状況の値は、3か年度（平成 22～24 年度）の平均値を記載しています。

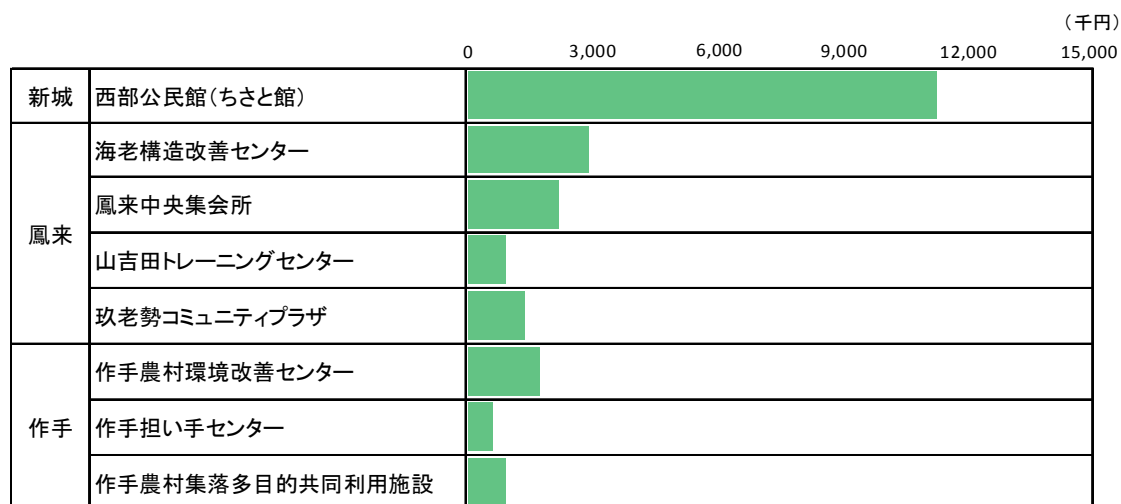
### (3) コスト状況の把握

- ・西部公民館（ちさと館）は、平成 24 年度まで指定管理者制度を導入し、運営していました。平成 25 年度からは市の直営となっています。
- ・施設に係るコストでは、海老構造改善センター、鳳来中央集会所、西部公民館（ちさと館）についてコストが高くなっています。

図表 3-52 コスト状況（公民館等）

地区	施設名称	市の支出(千円)			
		施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	合計
新城	西部公民館(ちさと館)	84	3,979	0	4,063
鳳来	海老構造改善センター	2,312	600	0	2,912
	鳳来中央集会所	1,572	600	0	2,172
	山吉田トレーニングセンター	874	0	0	874
	玖老勢コミュニティプラザ	733	600	0	1,333
作手	作手農村環境改善センター	1,741	0	0	1,741
	作手担い手センター	593	0	0	593
	作手農村集落多目的共同利用施設	883	0	0	883

地区	施設名称	指定管理者の支出(千円)				
		施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	合計
新城	西部公民館(ちさと館)	3,291	0	3,334	610	7,235



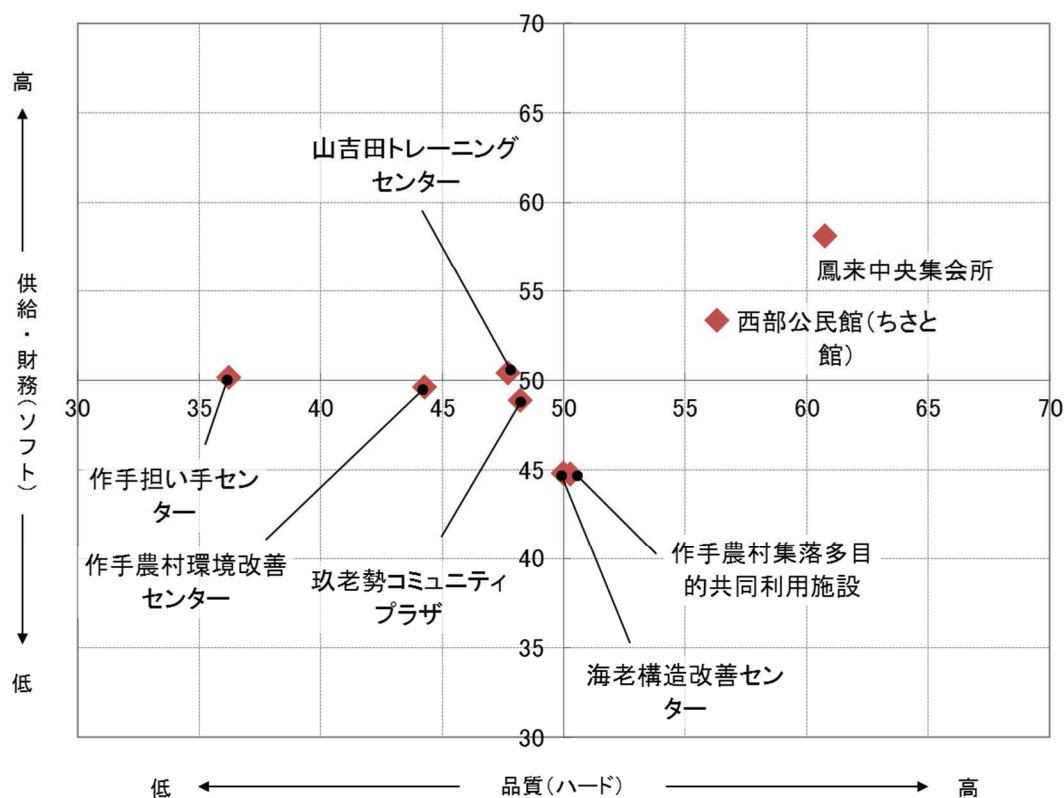
※支出額は、3か年度（平成 22～24 年度）の平均値を記載しています。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・品質については、平均偏差値 50 を上回る施設、下回る施設と様々です。
- ・供給・財務については、鳳来中央集会所と西部公民館（ちさと館）の偏差値が 50 を上回っており、それ以外の施設は偏差値 50 前後となっています。

図表 3-53 ポートフォリオ分析結果（公民館等）

地区	施設名称	延床面積 (㎡)	品質				平均偏差値 (ハード)	供給				財務				平均偏差値 (ソフト)
			平均築年数	偏差値	劣化度	偏差値		面積当たり1日当たり平均利用者数(人/日・㎡)	偏差値	利用率(%)	偏差値	面積当たり市負担額(円/㎡)	偏差値	利用者1人当たり1日当たり市負担額(円/人・日)	偏差値	
新城	西部公民館(ちさと館)	701.2	20.2	54.6	2.0	58.1	56.3	0.13	73.3	22.6	74.8	15,244	23.9	1.2	41.4	53.3
鳳来	海老構造改善センター	834.6	19.5	55.1	3.4	44.9	50.0	0.03	47.4	1.8	42.1	3,239	50.0	1.3	39.6	44.8
	鳳来中央集会所	1,305.3	17.3	57.0	1.3	64.5	60.8	0.07	58.3	7.7	51.3	1,255	54.4	0.2	68.6	58.1
	山吉田トレーニングセンター	699.0	28.8	47.0	3.0	48.5	47.7	0.01	44.0	6.5	49.5	1,250	54.4	0.7	53.7	50.4
	玖老勢コミュニティプラザ	892.2	24.9	50.4	3.3	46.1	48.2	0.02	46.9	1.4	41.4	1,426	54.0	0.8	53.3	48.9
作手	作手農村環境改善センター	844.0	29.4	46.5	3.7	42.1	44.3	0.02	44.8	7.4	50.8	1,858	53.0	0.9	49.8	49.6
	作手担い手センター	287.3	33.1	43.2	5.0	29.3	36.2	0.01	42.8	3.3	44.4	572	55.8	0.6	57.6	50.2
	作手農村集落多目的共同利用施設	736.5	20.2	54.5	3.3	46.1	50.3	0.01	42.5	4.2	45.8	1,175	54.5	1.4	36.2	44.7



### 3-8 住宅施設

#### (1) 配置状況

- ・市営住宅には、住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で供給する公営住宅と、良質な賃貸住宅を求める中堅所得者に供給することを目的とした特定公共賃貸住宅があります。また、若者の定住を促進し、地域の活性化を図る目的で若者定住促進住宅を設置しています。
- ・特定公共賃貸住宅として城山ハイツを、若者定住促進住宅として草谷ハイツ・杉平住宅を設置しています。

図表 3-54 配置状況・外観写真（住宅施設）



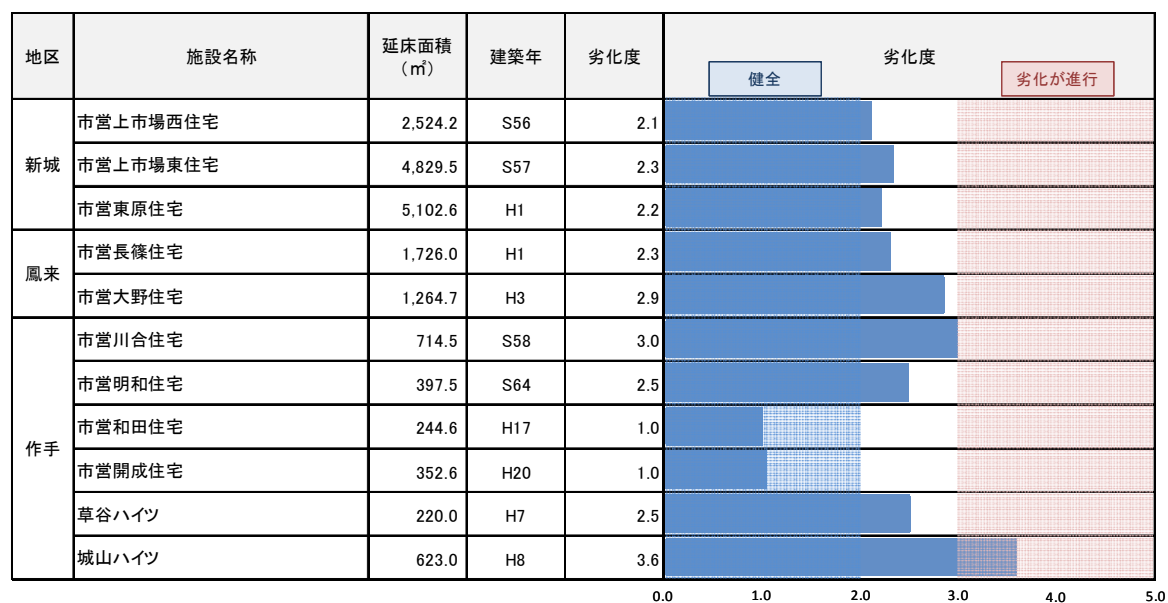
### 3-8-1 公営住宅

現況と課題の整理にあたっては、芳ヶ入住宅、杉平住宅を対象外とします。芳ヶ入住宅は新築のため、杉平住宅に関しては戸建住宅のためプライバシー保護等に配慮するものです。

#### (1) 劣化状況の把握

- ・城山ハイツの劣化が顕著となっています。劣化が進んでいるその他の住宅も含め、適切な保全を実施した上で運用する必要があります。
- ・市営和田住宅、市営開成住宅は概ね良好な状態を維持しています。

図表 3-55 劣化状況（公営住宅）



※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物を基に記載しています。  
 複数の建物で構成されている施設の劣化度は、各棟の劣化度の延床面積加重平均を基に記載しています。  
 劣化診断は、平成 25 年度に実施しています。

## (2) 利用状況の把握

- ・草谷ハイツ、城山ハイツは入居率が80%を下回っています。
- ・その他の住宅は入居率が高く、ほぼ満室に近い状態の住宅も多いことが分かります。

図表 3-56 利用状況（公営住宅）

地区	施設名称	延床面積 (㎡)	入居率(%)				入居率(3年平均)
			H22	H23	H24	3年平均	
新城	市営上市場西住宅	2,524.2	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	市営上市場東住宅	4,829.5	98.5	98.5	100.0	99.0	99.0
	市営東原住宅	5,102.6	100.0	98.6	97.1	98.6	98.6
鳳来	市営長篠住宅	1,726.0	100.0	91.7	100.0	97.2	97.2
	市営大野住宅	1,264.7	88.9	77.8	83.3	83.3	83.3
作手	市営川合住宅	714.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	市営明和住宅	397.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	市営和田住宅	244.6	100.0	100.0	66.7	88.9	88.9
	市営開成住宅	352.6	100.0	100.0	80.0	93.3	93.3
	草谷ハイツ	220.0	100.0	100.0	25.0	75.0	75.0
	城山ハイツ	623.0	70.0	70.0	80.0	73.3	73.3

※利用状況の値は、3か年度（平成22～24年度）の平均値を記載しています。

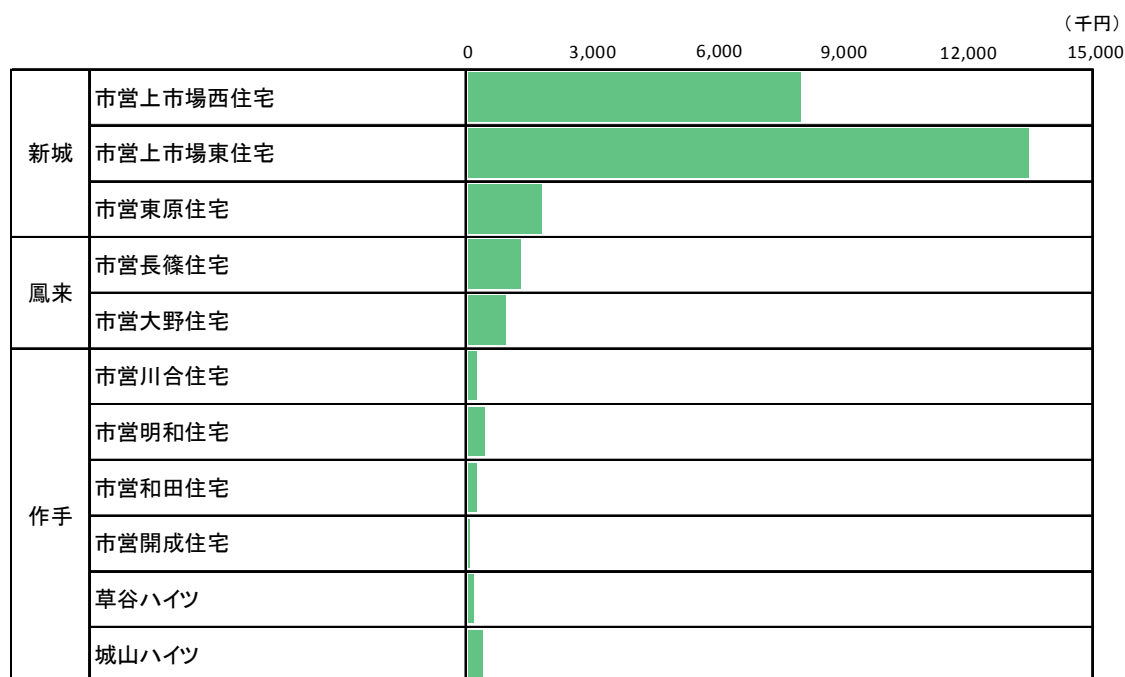


### (3) コスト状況の把握

- ・市営上市場西住宅、市営上市場東住宅は修繕工事を実施しているため、施設に係るコストが高くなっています。

図表 3-57 コスト状況（公営住宅）

地区	施設名称	市の支出(千円)			
		施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	合計
新城	市営上市場西住宅	8,005	0	0	8,005
	市営上市場東住宅	13,488	30	0	13,518
	市営東原住宅	1,755	0	0	1,755
鳳来	市営長篠住宅	1,257	0	0	1,257
	市営大野住宅	855	0	11	866
作手	市営川合住宅	202	0	0	202
	市営明和住宅	364	0	0	364
	市営和田住宅	216	0	0	216
	市営開成住宅	35	0	0	35
	草谷ハイツ	106	0	0	106
	城山ハイツ	354	0	0	354



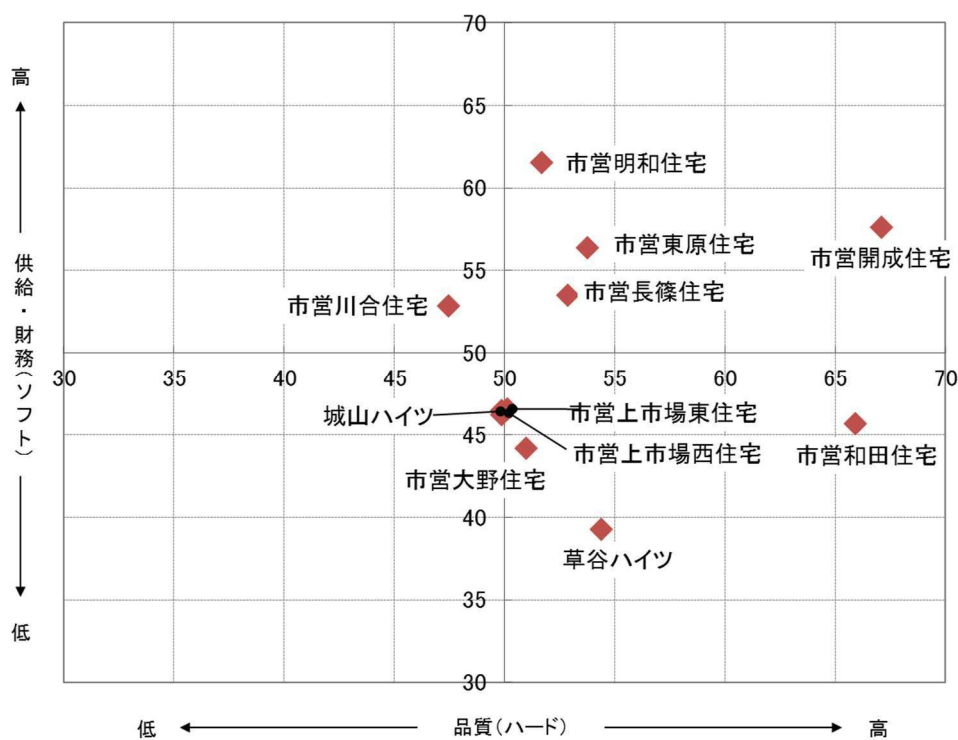
※支出額は、3か年度（平成22～24年度）の平均値を記載しています。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・品質については、劣化度の相対的に高い市営川合住宅・城山ハイツが平均偏差値 50 を下回っており、優先的に改修を実施すべき施設と言えます。
- ・供給・財務については相対比較のため平均偏差値 50 を下回る施設もありますが、概ね満室の状態、かつ家賃収入により面積当たり市負担額もマイナス（黒字）であることから、運営状況はいずれも良好と言えます。

図表 3-58 ポートフォリオ分析結果（公営住宅）

地区	施設名称	延床面積 (㎡)	品質				平均偏差値 (ハード)	供給		財務		平均偏差値 (ソフト)
			平均築年数	偏差値	劣化度	偏差値		平均入居率 (%)	偏差値	面積当たり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	
新城	市営上市場西住宅	2,524.2	33.1	43.2	2.1	57.0	50.1	100.0	58.6	-794	34.6	46.6
	市営上市場東住宅	4,829.5	31.2	44.9	2.3	54.9	49.9	99.0	57.5	-838	34.8	46.2
	市営東原住宅	5,102.6	23.6	51.5	2.2	56.0	53.8	98.6	57.1	-3,976	55.7	56.4
鳳来	市営長篠住宅	1,726.0	24.6	50.7	2.3	55.1	52.9	97.2	55.7	-3,313	51.3	53.5
	市営大野住宅	1,264.7	22.9	52.1	2.9	49.9	51.0	83.3	41.4	-2,660	46.9	44.2
作手	市営川合住宅	714.5	29.3	46.5	3.0	48.5	47.5	100.0	58.6	-2,685	47.1	52.8
	市営明和住宅	397.5	25.3	50.1	2.5	53.3	51.7	100.0	58.6	-5,296	64.4	61.5
	市営和田住宅	244.6	9.2	64.2	1.0	67.7	65.9	88.9	47.1	-2,253	44.2	45.7
	市営開成住宅	352.6	6.0	66.9	1.0	67.3	67.1	93.3	51.7	-5,149	63.5	57.6
	草谷ハイツ	220.0	19.0	55.5	2.5	53.3	54.4	75.0	32.8	-2,476	45.7	39.2
	城山ハイツ	623.0	17.3	57.0	3.6	42.7	49.9	73.3	31.1	-4,897	61.8	46.4



### 3-9 消防防災施設

#### (1) 配置状況

- ・ 消防施設は、火災等の災害から市民等を守ることを目的とした消防活動の拠点施設として設置しています。
- ・ 消防防災センターは、地域の消防本部として本市及び北設楽郡内の消防事務を処理しています。また、センター内に防災学習ホールも併設しており、地域住民に対する防災知識等の教育訓練にも寄与しています。

図表 3-59 配置状況・外観写真（消防防災施設）

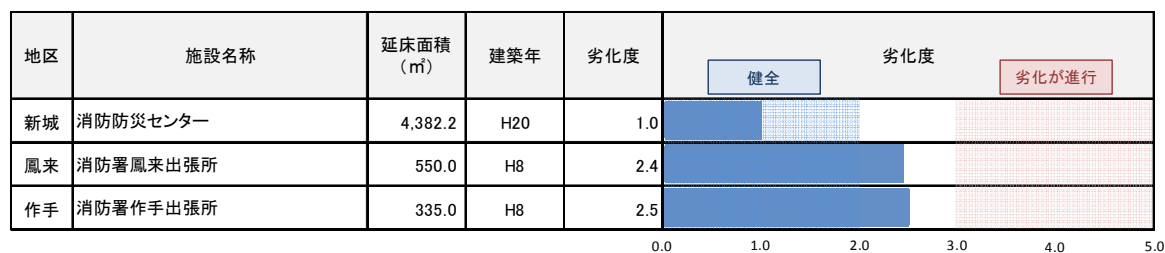


### 3-9-1 消防施設

#### (1) 劣化状況の把握

- ・ 鳳来出張所、作手出張所は一部の部位・設備に経年劣化がみとめられます。作手出張所については、内装のコンクリートのひび割れが見られます。
- ・ 消防防災センターは比較的新しい施設であり、概ね良好な状態を維持しています。

図表 3-60 劣化状況（消防施設）



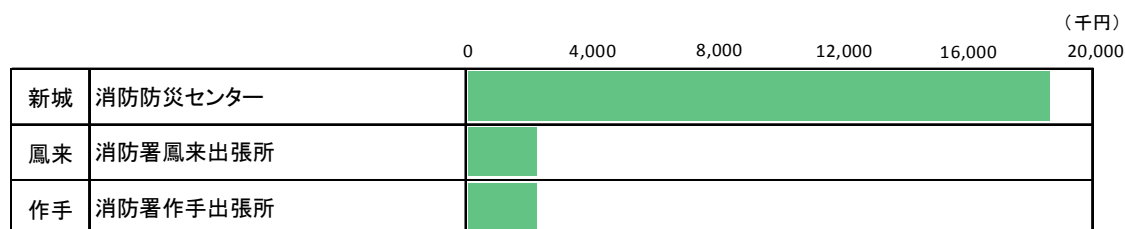
※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物を基に記載しています。  
 複数の建物で構成されている施設の劣化度は、各棟の劣化度の延床面積加重平均を基に記載しています。  
 劣化診断は、平成 25 年度に実施しています。

#### (2) コスト状況の把握

- ・ 消防防災センターは消防行政の拠点施設であり、他の施設に比べて、施設に係るコスト、事業運営に係るコストが高くなっています。
- ・ 延床面積当たりの支出で比較すると、作手出張所の支出額が最も高くなります。

図表 3-61 コスト状況（消防施設）

地区	施設名称	市の支出(千円)			
		施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	合計
新城	消防防災センター	10,678	8,029	0	18,707
鳳来	消防署鳳来出張所	1,436	748	0	2,184
作手	消防署作手出張所	1,471	703	0	2,174



※支出額は、3 か年度（平成 22～24 年度）の平均値を記載しています。

### 3-10 学校教育施設

#### (1) 配置状況

- ・小・中学校は、「市町村はその区域内にある学齢児童・生徒を就学させるに必要な小・中学校を設置しなければならない。」と定められ、小学校は、心身の発達に応じて、初等普通教育を施すことを目的とし、中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を施すことを目的として設置しています。
- ・鳳来寺小学校、鳳来西小学校、海老小学校、連谷小学校の4校が1校に、作手小学校北校舎、作手小学校南校舎の2校舎を1校舎にする統廃合を予定しています。
- ・市内の小・中学校はすべて耐震化が完了しており、災害時の避難所に指定されています。

図表 3-62 配置状況・外観写真（学校教育施設）



新城小学校



鳳来寺小学校



千郷中学校

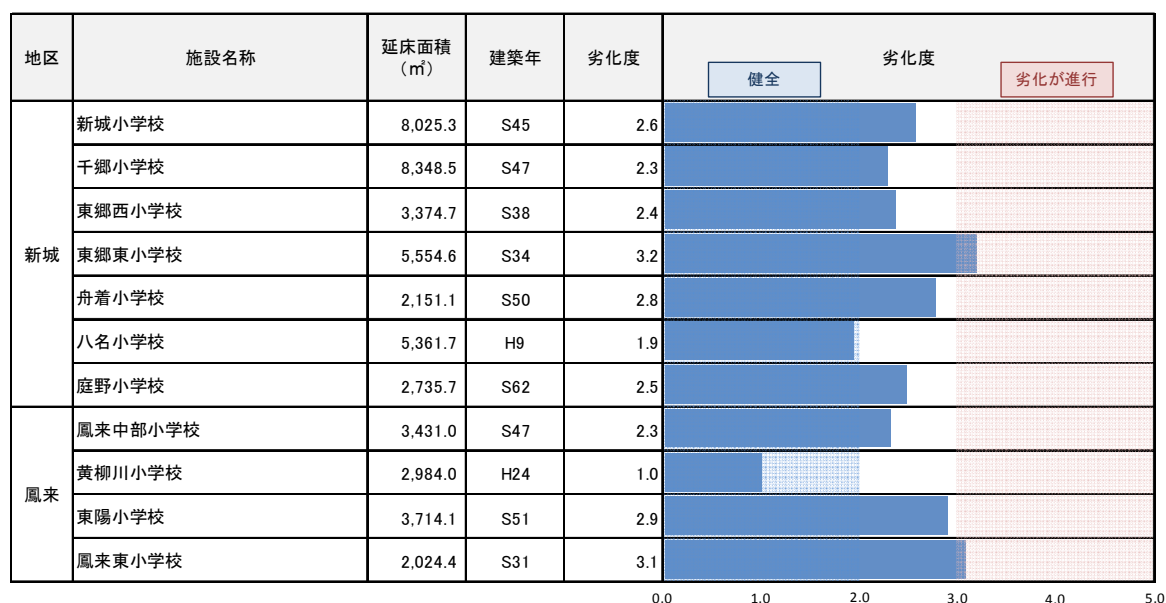
### 3-10-1 小学校

ここでの現況と課題の整理にあたっては、統合に伴う廃校を予定している作手小学校北校舎、作手小学校南校舎、鳳来西小学校、連谷小学校、海老小学校については、対象外とします。また、統合に伴って改修を予定している鳳来寺小学校についても、対象外とします。

#### (1) 劣化状況の把握

- ・東郷東小学校、鳳来東小学校の劣化が顕著となっており、外壁等のひびや錆び、内装の漏水跡などがみとめられます。
- ・黄柳川小学校・八名小学校を除くその他の小学校も昭和30年代から50年代にかけて整備された学校が多く、経年劣化が進んでいます。
- ・供用に支障をきたす箇所への補修を行いつつ、適切な時期に改修を行っていくことが望ましいと言えます。

図表 3-63 劣化状況（小学校）



※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物を基に記載しています。  
 複数の建物で構成されている施設の劣化度は、各棟の劣化度の延床面積加重平均を基に記載しています。  
 劣化診断は、平成25年度に実施しています。

## (2) 利用状況の把握

- ・人口の多い新城地区の小学校ほど面積当たり平均児童数が多く、鳳来地区は少ない傾向にあります。
- ・面積当たり平均児童数が少ない学校は、相対的に余裕のある使われ方がなされていると判断でき、小規模校ではこの傾向が強いと言えます。
- ・黄柳川小学校は平成24年新築のため、データがありません。

図表 3-64 利用状況（小学校）

地区	施設名称	延床面積 (㎡)	児童数(人)				面積当たり平均児童数(人/㎡)	面積当たり平均児童数
			H22	H23	H24	3年平均		
新城	新城小学校	8,025.3	457	466	451	458	0.057	
	千郷小学校	8,348.5	701	690	681	691	0.083	
	東郷西小学校	3,374.7	312	308	290	303	0.090	
	東郷東小学校	5,554.6	252	242	231	242	0.044	
	舟着小学校	2,151.1	64	63	61	63	0.029	
	八名小学校	5,361.7	251	235	232	239	0.045	
	庭野小学校	2,735.7	32	36	33	34	0.012	
鳳来	鳳来中部小学校	3,431.0	202	198	193	198	0.058	
	黄柳川小学校	2,984.0	—	—	—	—	—	—
	東陽小学校	3,714.1	143	127	116	129	0.035	
	鳳来東小学校	2,024.4	21	17	17	18	0.009	

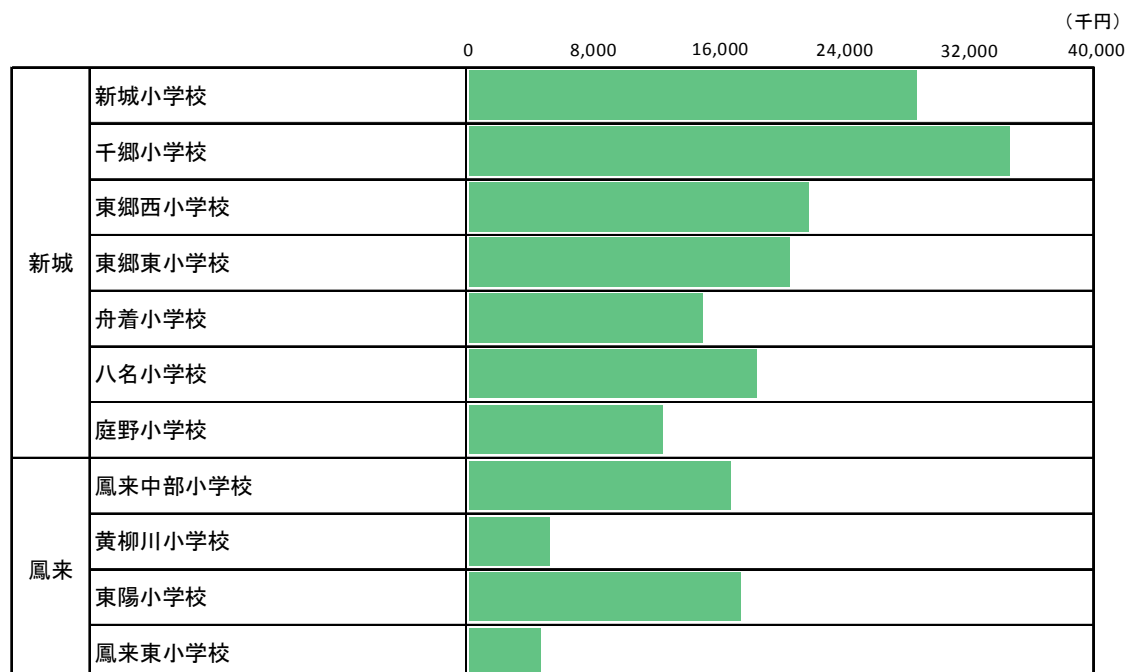
※利用状況の値は、3か年度（平成22～24年度）の平均値を記載しています。

### (3) コスト状況の把握

- ・規模の大きい小学校ほど、施設全体にかかる維持・運営費用が高くなる傾向があります。
- ・人に係るコストが施設に係るコストよりも高くなる傾向があります。
- ・黄柳川小学校は平成 24 年新築のため、施設に係るコスト・事業運営に係るコストのデータがありません。

図表 3-65 コスト状況（小学校）

地区	施設名称	市の支出(千円)			
		施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	合計
新城	新城小学校	11,930	167	16,700	28,798
	千郷小学校	16,134	174	18,400	34,707
	東郷西小学校	8,557	0	13,300	21,857
	東郷東小学校	8,941	127	11,600	20,668
	舟着小学校	4,974	148	9,900	15,022
	八名小学校	6,723	220	11,600	18,543
	庭野小学校	10,502	184	1,700	12,386
鳳来	鳳来中部小学校	5,018	156	11,600	16,774
	黄柳川小学校	—	—	5,100	5,100
	東陽小学校	7,480	118	9,900	17,498
	鳳来東小学校	2,794	83	1,700	4,578



※支出額は、3か年度（平成 22～24 年度）の平均値を記載しています。

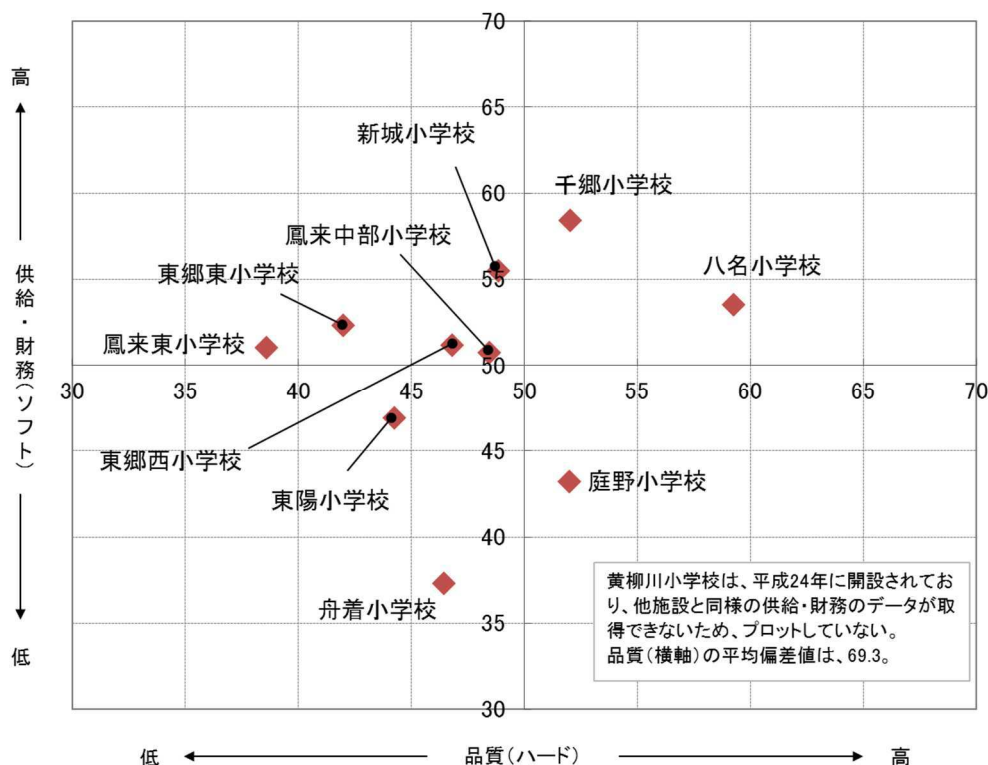


#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・多くの小学校において平均築年数の高さから品質の平均偏差値が50を下回る傾向にあり、本市の公共施設の中でも相対的に劣化が進んでいると言えます。
- ・黄柳川小学校は平成24年新築であり一部データがないため、グラフ上には記載していません。

図表 3-66 ポートフォリオ分析結果（小学校）

地区	施設名称	延床面積 (㎡)	品質				平均偏差値 (ハード)	供給		財務		平均偏差値 (ソフト)
			平均築年数	偏差値	劣化度	偏差値		面積当たり 平均児童数 (人/㎡)	偏差値	面積当たり 市負担額(円 /㎡)	偏差値	
新城	新城小学校	8,025.3	30.8	45.2	2.6	52.5	48.9	0.057	54.3	3,588	56.6	55.5
	千郷小学校	8,348.5	26.8	48.7	2.3	55.3	52.0	0.083	64.4	4,157	52.4	58.4
	東郷西小学校	3,374.7	37.9	39.0	2.4	54.6	46.8	0.090	67.3	6,477	35.1	51.2
	東郷東小学校	5,554.6	39.7	37.4	3.2	46.6	42.0	0.044	49.0	3,721	55.7	52.3
	舟着小学校	2,151.1	34.2	42.2	2.8	50.7	46.5	0.029	43.3	6,983	31.3	37.3
	八名小学校	5,361.7	14.2	59.8	1.9	58.8	59.3	0.045	49.4	3,458	57.6	53.5
	庭野小学校	2,735.7	24.7	50.6	2.5	53.5	52.0	0.012	36.7	4,528	49.6	43.2
鳳来	鳳来中部小学校	3,431.0	34.7	41.8	2.3	55.1	48.5	0.058	54.5	4,889	46.9	50.7
	黄柳川小学校	2,984.0	1.5	70.9	1.0	67.7	69.3	—	—	—	—	—
	東陽小学校	3,714.1	37.8	39.1	2.9	49.4	44.3	0.035	45.5	4,711	48.3	46.9
	鳳来東小学校	2,024.4	48.7	29.5	3.1	47.7	38.6	0.009	35.4	2,261	66.6	51.0

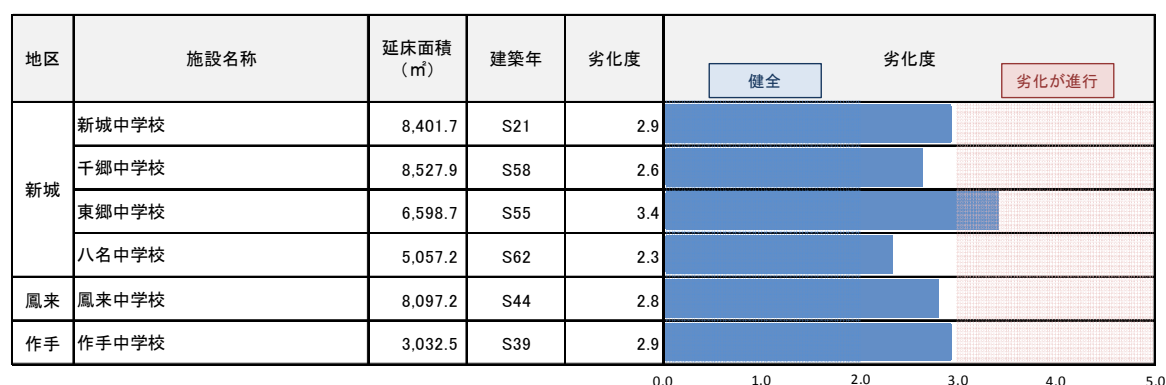


### 3-10-2 中学校

#### (1) 劣化状況の把握

- ・東郷中学校の劣化が顕著となっており、外壁等の塗装剥離や錆び、内装の漏水跡などがみとめられます。
- ・その他の中学校についても昭和 20 年代から 50 年代にかけて整備された学校が多く、経年劣化が進んでいます。
- ・供用に支障をきたす箇所の補修を行いつつ、適切な時期に改修を行っていくことが望ましいと言えます。

図表 3-67 劣化状況（中学校）

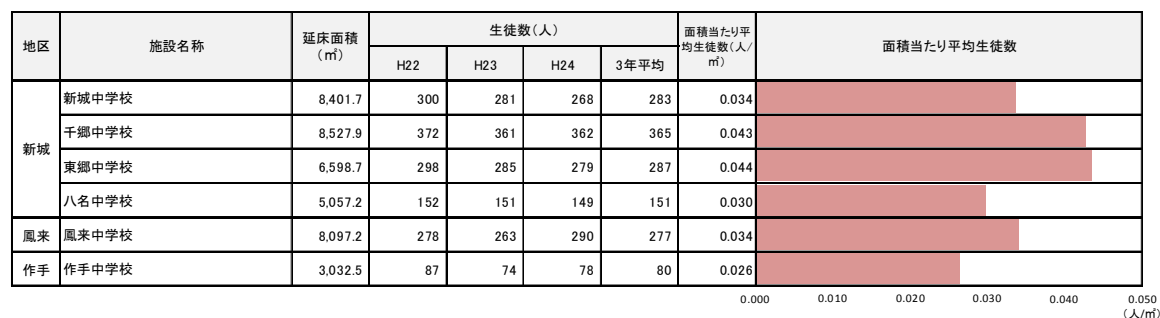


※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物を基に記載しています。  
 複数の建物で構成されている施設の劣化度は、各棟の劣化度の延床面積加重平均を基に記載しています。  
 劣化診断は、平成 25 年度に実施しています。

#### (2) 利用状況の把握

- ・千郷中学校、東郷中学校の面積当たり生徒数が多く、その他の中学校は同程度の水準となっています。
- ・面積当たり平均生徒数が少ない学校は、相対的に余裕のある使われ方がなされていると判断でき、小規模校ではこの傾向が強いと言えます。

図表 3-68 利用状況（中学校）



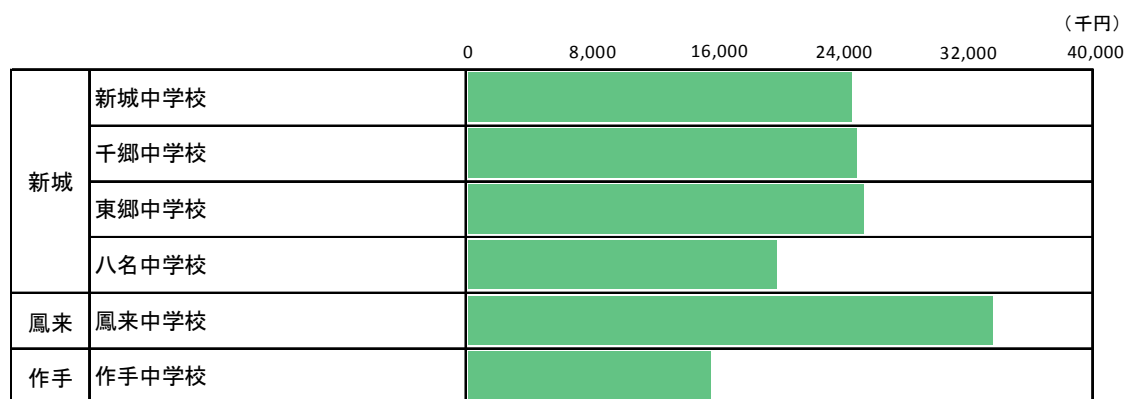
※利用状況の値は、3 か年度（平成 22～24 年度）の平均値を記載しています。

### (3) コスト状況の把握

- ・いずれの中学校も一定の維持・管理費用が発生しています。
- ・人に係るコストが施設に係るコストよりも高くなる傾向があります。

図表 3-69 コスト状況（中学校）

地区	施設名称	市の支出(千円)			
		施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	合計
新城	新城中学校	11,315	0	13,300	24,615
	千郷中学校	10,041	0	15,000	25,041
	東郷中学校	12,187	0	13,300	25,487
	八名中学校	9,932	0	9,900	19,832
鳳来	鳳来中学校	10,853	0	22,900	33,753
作手	作手中学校	7,368	0	8,200	15,568



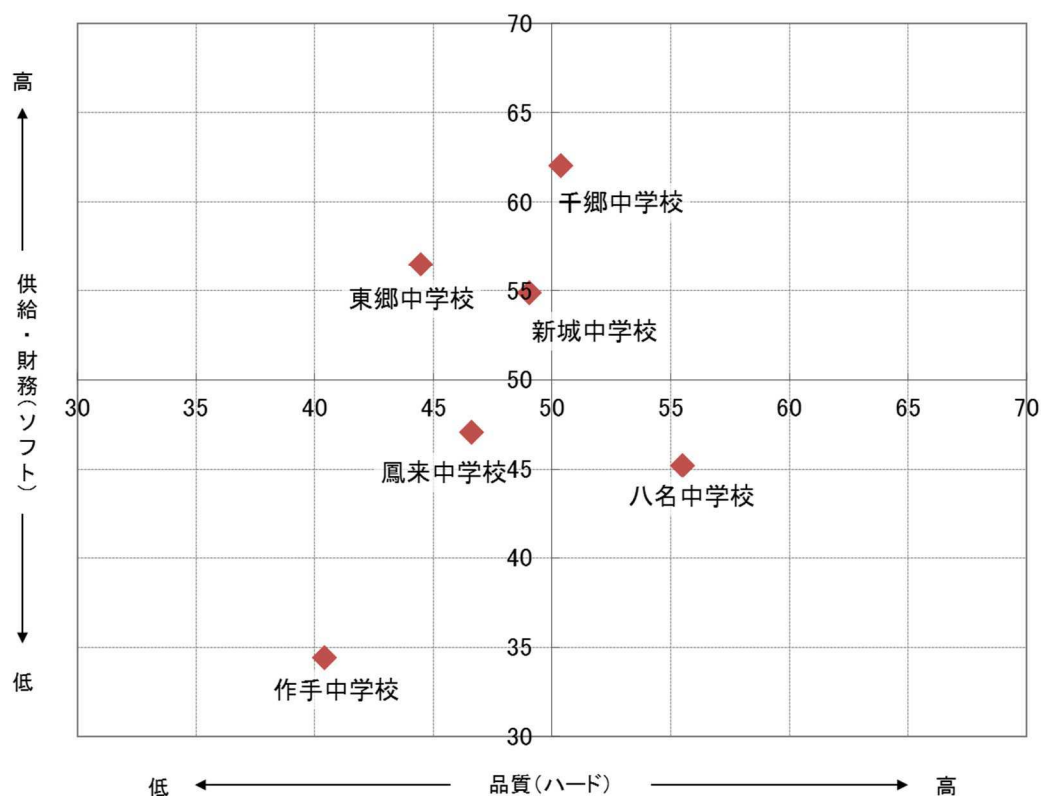
※支出額は、3か年度（平成22～24年度）の平均値を記載しています。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・多くの中学校において平均築年数が大きいことから品質の平均偏差値が 50 を下回っており、本市の公共施設の中で相対的に劣化が進んでいると言えます。
- ・人口の少ない鳳来・作手地区にある学校では面積当たり平均生徒数が相対的に少なく、供給・財務の平均偏差値が 50 を下回る傾向にあります。

図表 3-70 ポートフォリオ分析結果（中学校）

地区	施設名称	延床面積 (㎡)	品質				平均偏差値 (ハード)	供給		財務		平均偏差値 (ソフト)
			平均築年数	偏差値	劣化度	偏差値		面積当たり 平均生徒数 (人/㎡)	偏差値	面積当たり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	
新城	新城中学校	8,401.7	26.6	48.9	2.9	49.2	49.0	0.034	47.8	2,930	61.8	54.8
	千郷中学校	8,527.9	26.7	48.8	2.6	51.9	50.4	0.043	62.3	2,936	61.8	62.0
	東郷中学校	6,598.7	31.7	44.4	3.4	44.5	44.5	0.044	63.4	3,862	49.5	56.5
	八名中学校	5,057.2	18.5	56.0	2.3	55.0	55.5	0.030	41.7	3,922	48.7	45.2
鳳来	鳳来中学校	8,097.2	33.4	42.9	2.8	50.4	46.6	0.034	48.7	4,168	45.5	47.1
作手	作手中学校	3,032.5	46.2	31.7	2.9	49.2	40.4	0.026	36.1	5,134	32.7	34.4



### 3-11 生涯学習施設

#### (1) 配置状況

- 青年の家は、各種の研修、体育、野外活動、レクリエーション等を通じて、規律、協同、奉仕等の徳性のかん養及び教養の向上を図り、心身ともに健全な青少年の育成を図るための施設として設置しています。
- 研修室や和室、視聴覚室、調理実習室、体育室の各設備を備えています。

図表 3-71 配置状況・外観写真（生涯学習施設）



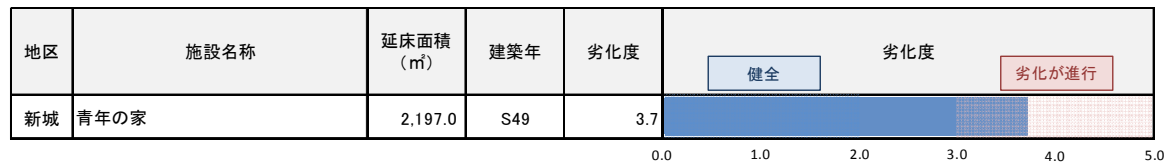
青年の家

### 3-11-1 生涯学習施設

#### (1) 劣化状況の把握

- ・青年の家は築年数が40年を超え、劣化が顕著となっています。
- ・管理棟では外壁・内装の劣化に加えて、空調設備の故障が頻繁に発生しています。また、体育館でも外壁の塗装剥離や内部の漏水跡がみとめられます。

図表 3-72 劣化状況（生涯学習施設）

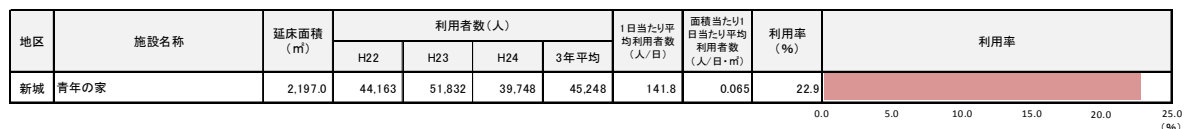


※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物を基に記載しています。  
 複数の建物で構成されている施設の劣化度は、各棟の劣化度の延床面積加重平均を基に記載しています。  
 劣化診断は、平成25年度に実施しています。

#### (2) 利用状況の把握

- ・1日あたり平均利用者数は142.1人、利用率は22.9%となっています。
- ・体育館の貸出を行う体育施設と比較しても、青年の家の1日あたり平均利用者数の方が高くなっています。

図表 3-73 利用状況（生涯学習施設）



※利用状況の値は、3か年度（平成22～24年度）の平均値を記載しています。

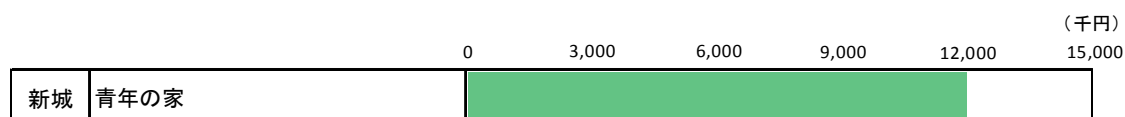
### (3) コスト状況の把握

- ・青年の家は平成 24 年度まで指定管理者制度を導入し、運営していました。平成 25 年度からは市の直営となっています。
- ・体育館の貸出を行う体育施設と比較すると、青年の家の方が比較的成本が高くなっています。

図表 3-74 コスト状況（生涯学習施設）

地区	施設名称	市の支出(千円)			
		施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	合計
新城	青年の家	1,184	0	0	1,184

地区	施設名称	指定管理者の支出(千円)				
		施設に係るコスト	事業運営に係るコスト (自主事業以外)	事業運営に係るコスト (自主事業分)	人に係るコスト	合計
新城	青年の家	6,545	0	3,365	913	10,823



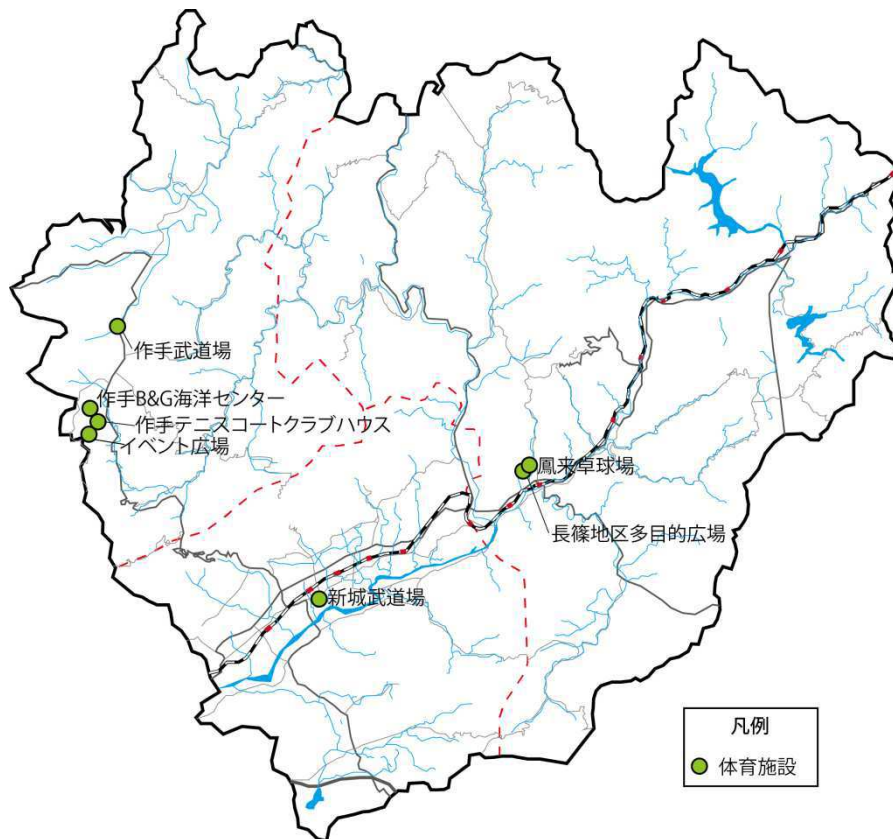
※支出額は、3か年度（平成 22～24 年度）の平均値を記載しています。

### 3-12 体育施設

#### (1) 配置状況

- ・ 体育施設は、スポーツの振興を図り、住民福祉の向上に寄与することを目的として設置しています。
- ・ 社会体育の向上及び普及のため、武道場や卓球場、プール、体育館、テニスコート、多目的広場等の各種施設を整備しています。
- ・ 鳳来卓球場は鳳来中学校敷地内に設置しています。
- ・ 作手武道場は作手中学校敷地に隣接して配置しており、部活動等に利用されています。
- ・ 作手B&G海洋センター、イベント広場、作手テニスコートクラブハウスは一体的利用を目的として近接した配置をしています。
- ・ 作手B&G海洋センターは作手地区の小・中学校のプール施設を兼用しています。

図表 3-75 配置状況・外観写真（体育施設）



新城武道場



長篠地区多目的広場管理棟



作手B&G海洋センター

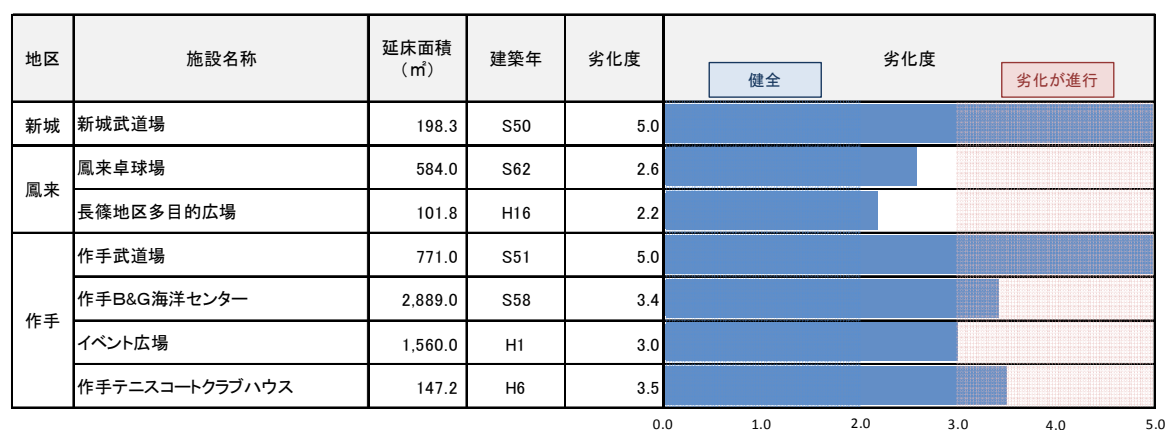


### 3-12-1 体育施設

#### (1) 劣化状況の把握

- ・多くの施設で劣化が顕著であり、改修が必要な状態にあります。
- ・新城武道場、作手武道場については、新耐震基準に応じた補強等が行われておらず、劣化度が5.0となっています。
- ・作手テニスコートクラブハウスは、特に外壁・内装の劣化が進んでいます。また、外部階段やバルコニーの傷みも顕著で、早急な対応が必要です。

図表 3-76 劣化状況（体育施設）

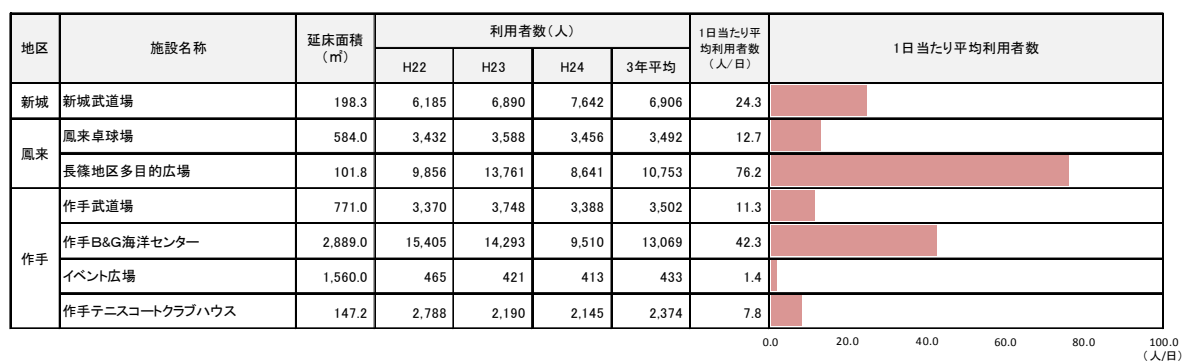


※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物を基に記載しています。  
 複数の建物で構成されている施設の劣化度は、各棟の劣化度の延床面積加重平均を基に記載しています。  
 劣化診断は、平成25年度に実施しています。

#### (2) 利用状況の把握

- ・長篠地区多目的広場の1日当たり利用者数が多くなっています。
- ・作手B&G海洋センターは、人口の少ない地域に配置されていますが、イベント広場、作手テニスコートクラブハウス等との一体利用が図られていることや、設備が充実していることもあり、一定の利用がみとめられます。

図表 3-77 利用状況（体育施設）



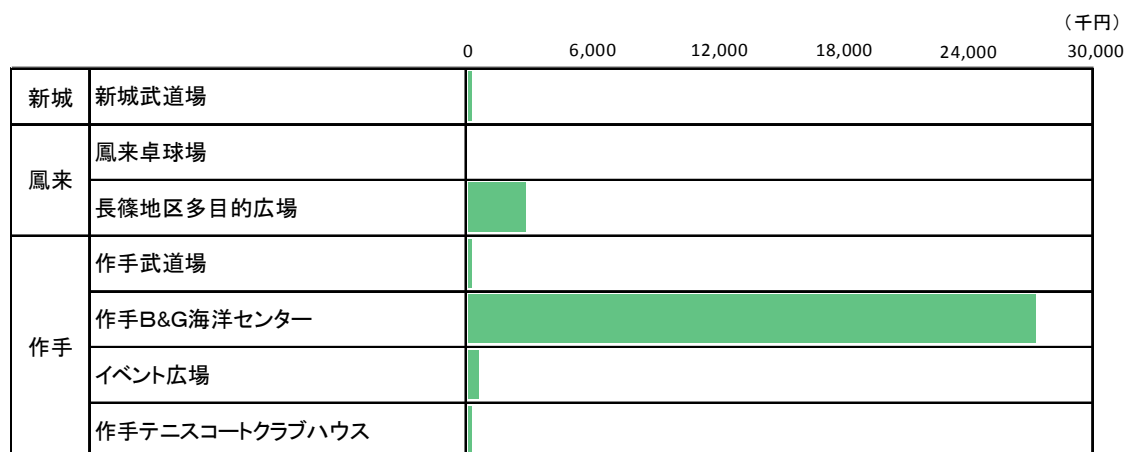
※利用状況の値は、3か年（平成22～24年度）の平均値を記載しています。

### (3) コスト状況の把握

- ・作手B&G海洋センターは、施設の修繕工事があったため、コストが最も高くなっています。
- ・その他の施設については、比較的良好なコスト状況となっています。

図表 3-78 コスト状況（体育施設）

地区	施設名称	市の支出(千円)			
		施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	合計
新城	新城武道場	201	0	0	201
鳳来	鳳来卓球場	0	0	0	0
	長篠地区多目的広場	2,634	165	0	2,799
作手	作手武道場	191	8	0	199
	作手B&G海洋センター	19,315	1,550	6,500	27,365
	イベント広場	276	238	0	514
	作手テニスコートクラブハウス	144	0	0	144



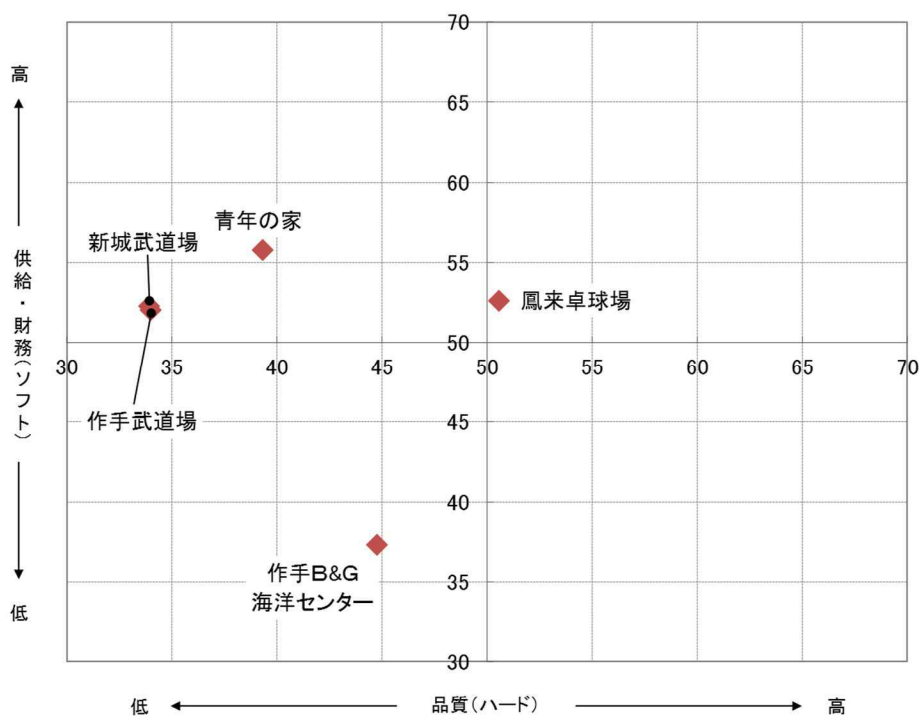
※支出額は、3か年（平成22～24年度）の平均値を記載しています。

#### (4) ポートフォリオ分析結果

- ・劣化度の比較的低い鳳来卓球場は品質の偏差値が 50.6 と 50 を若干上回っていますが、他の施設はいずれも品質の偏差値が低く、本市の公共施設の中でも劣化が進んでいると判断できます。
- ・作手 B&G 海洋センターは屋外グラウンドなどの施設整備が集中したことで、一定の利用はあるものの、コストが他施設と比較し高くなっています。供給・財務の平均偏差値が他の施設よりも低く、より効率的な運営が求められます。

図表 3-79 ポートフォリオ分析結果（体育施設）

地区	施設名称	延床面積 (㎡)	品質				平均偏差値 (ハード)	供給		財務			平均偏差値 (ソフト)	
			平均築年数	偏差値	劣化度	偏差値		1日当たり平均利用者数(人/日)	偏差値	面積当たり市負担額(円/㎡)	偏差値	利用者1人当たり1日当たり市負担額(円/人・日)		偏差値
新城	新城武道場	198.3	38.3	38.6	5.0	29.3	34.0	24.3	45.5	1,015	55.7	0.1	55.6	52.3
鳳来	鳳来卓球場	584.0	26.9	48.6	2.6	52.6	50.6	12.7	43.1	0	58.7	0.0	56.0	52.6
作手	作手武道場	771.0	38.1	38.8	5.0	29.3	34.0	11.3	42.8	258	58.0	0.2	55.3	52.0
作手	作手B&G海洋センター	2,889.0	31.0	45.0	3.4	44.5	44.8	42.3	49.1	8,854	32.7	6.3	30.1	37.3
新城	青年の家	2,197.0	40.0	37.1	3.7	41.6	39.3	141.8	69.5	4,706	44.9	0.7	53.0	55.8



※ポートフォリオ分析は、屋内でスポーツ等を行う施設のみを対象としています。また、体育施設と同様の体育館としての利用がされている生涯学習施設「青年の家」も比較対象として分析しています。

### 3-13 その他施設

#### (1) 配置状況

- ・平成 26 年 4 月に開学した穂の香看護専門学校は学校法人により運営されています。市は、施設を学校法人に貸し付けています。
- ・リフレッシュセンターはホールやラウンジ、テラス、サロンを完備し、各種音楽会などの室内イベントや研修会、会合に利用されています。
- ・新城まちなみ情報センターは、交流の場の創設を目的として、観光情報の提供や市民への IT 講習等を行っています。
- ・鳳来地区の閉鎖した保育園は、旧黄柳野保育園は山吉田地区民俗資料館として、旧連谷保育園は地区の健康福祉等の公益事業に供する施設として、地元は無償貸付しています。

図表 3-80 配置状況・外観写真（その他施設）

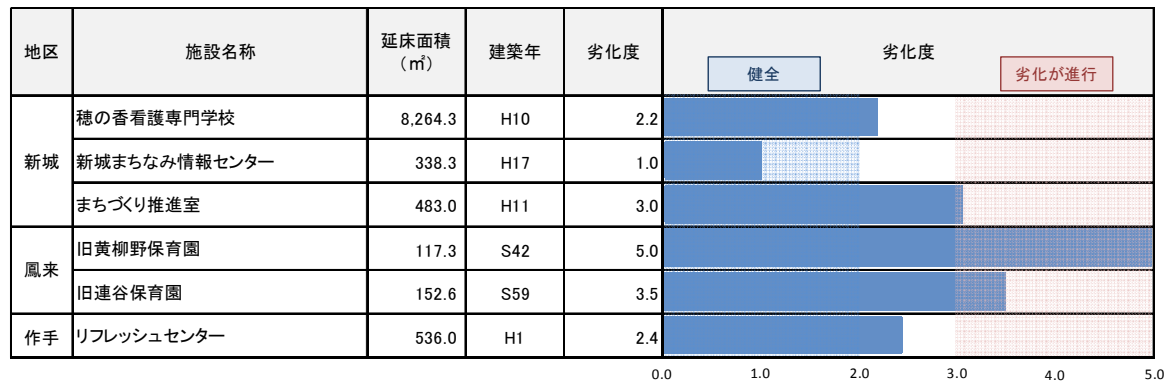


### 3-13-1 その他施設

#### (1) 劣化状況の把握

- ・旧保育園はいずれも劣化が顕著となっています。
- ・その他の施設については、比較的健全な状態の新城まちなみ情報センターを除いて、経年劣化が進んでいます。

図表 3-81 劣化状況（その他施設）

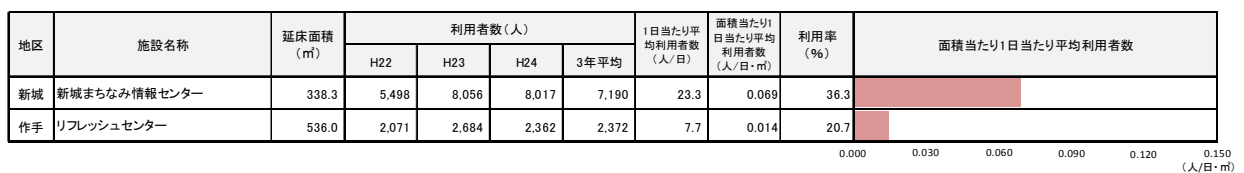


※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物を基に記載しています。  
 複数の建物で構成されている施設の劣化度は、各棟の劣化度の延床面積加重平均を基に記載しています。  
 劣化診断は、平成 25 年度に実施しています。

#### (2) 利用状況の把握

- ・いずれの施設も一定の利用がみとめられます。

図表 3-82 利用状況（その他施設）



※1日平均利用者数、利用率は、3か年（平成 22～24 年度）の平均値を記載しています。  
 ※利用状況が分かる施設のみを抜粋しています。

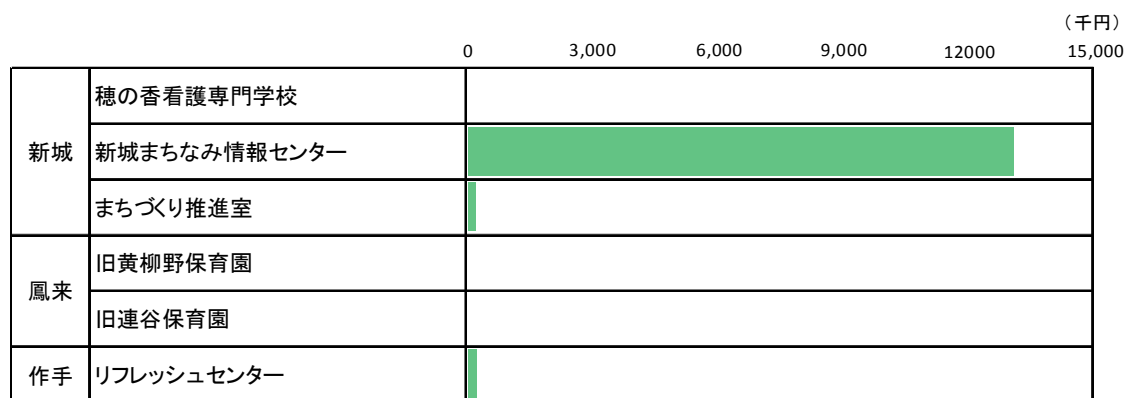
### (3) コスト状況の把握

- ・新城まちなみ情報センターは平成 24 年度まで指定管理者制度を導入し、運営していましたが、平成 25 年度からは指定管理者制度を廃止し、市が運営しています。
- ・穂の香看護専門学校については、平成 25 年 8 月から学校法人への貸付を開始したため、支出は発生していません。
- ・まちづくり推進室、リフレッシュセンターについては、ほぼ同程度の支出額となっています。

図表 3-83 コスト状況（その他施設）

地区	施設名称	市の支出(千円)			
		施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	合計
新城	穂の香看護専門学校	0	0	0	0
	新城まちなみ情報センター	276	0	0	276
	まちづくり推進室	160	0	0	160
鳳来	旧黄柳野保育園	3	0	0	3
	旧連谷保育園	4	0	0	4
作手	リフレッシュセンター	214	0	0	214

地区	施設名称	指定管理者の支出(千円)				
		施設に係るコスト	事業運営に係るコスト (自主事業以外)	事業運営に係るコスト (自主事業分)	人に係るコスト	合計
新城	新城まちなみ情報センター	4,573	0	87	8,212	12,872



※支出額は、3か年（平成 22～24 年度）の平均値を記載しています。

### 3-14 用途別にみた課題総括

- ・庁舎、文化会館等、商工施設、生涯学習施設では築年数平均が30年を超えています。一方、1施設あたりの市負担額、延床面積当たりの市負担額はともに低く、効率的な施設運営が行われていると考えられます。個々の施設について利用実績を考慮し、改修や統廃合といった方針を検討することが必要です。
- ・健康・医療施設、高齢者福祉施設、こども園については、1施設あたりの市負担額、延床面積当たりの市負担額がともに高くなっています。特に人に係るコストの割合が高くなっており、これらの施設には高い専門性を持った職員が必要となることが要因であると捉えることができます。

図表 3-84 用途ごとにみた施設情報一覧（平成22～24年度平均）

大分類	中分類	施設数	延床面積 (㎡)	築年数平均	a.市の支出(千円)			b.市の収入(千円)	c.指定管理料(千円)	市の負担額 (a-b+c)(千円)	1施設当たり延床面積 (㎡)	1施設当たり市負担額(千円)	㎡当たり市負担額(千円/㎡)
					施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト						
庁舎等	庁舎	3	3,673	44.8	16,990	154	9,100	1,846	0	24,398	1,224	8,133	6.6
文化施設	文化会館等	8	15,554	32.2	16,642	3,513	52,753	30,935	136,324	178,297	1,944	22,287	11.5
保健・福祉・医療施設	健康・医療施設	6	3,893	16.9	16,595	19,441	217,285	17,667	0	235,653	649	39,276	60.5
	高齢者福祉施設	5	6,017	23.5	50,808	35,327	91,625	0	29,662	207,422	1,203	41,484	34.5
	その他福祉施設	4	3,401	14.2	1,836	793	18,606	0	12,438	33,673	850	8,418	9.9
児童福祉施設	児童館	2	802	14.3	1,553	111	3,400	0	0	5,064	401	2,532	6.3
こども園	こども園	15	13,569	23.5	29,704	106,491	699,650	181,565	0	654,280	905	43,619	48.2
商工観光施設	産業施設	3	2,647	32.0	19,450	65	2,598	1,983	0	20,130	882	6,710	7.6
	観光施設	9	14,664	22.7	32,415	0	0	28,197	90,509	94,727	1,629	10,525	6.5
公民館等	公民館	8	6,300	24.2	8,792	5,779	0	2,032	7,237	19,775	788	2,472	3.1
住宅施設	公営住宅	11	17,999	22.0	26,636	30	11	72,087	0	-45,410	1,636	-4,128	-2.5
消防防災施設	消防施設	3	5,267	14.1	13,585	9,480	0	565	0	22,499	1,756	7,500	4.3
学校教育施設	小学校	11	47,705	30.1	83,054	1,377	111,500	0	0	195,931	4,337	17,812	4.1
	中学校	6	39,715	30.5	61,696	0	82,600	0	0	144,296	6,619	24,049	3.6
生涯学習施設	生涯学習施設	1	2,197	40.0	1,184	0	0	1,666	10,822	10,340	2,197	10,340	4.7
体育施設	体育施設	7	6,251	27.0	22,761	1,960	6,500	2,721	0	28,501	893	4,072	4.6
その他施設	その他施設	6	9,891	22.6	657	0	0	860	14,708	14,505	1,649	2,417	1.5
<b>合計</b>		<b>108</b>	<b>199,547</b>	<b>25.0</b>	<b>404,356</b>	<b>184,520</b>	<b>1,295,628</b>	<b>342,124</b>	<b>301,700</b>	<b>1,844,080</b>	<b>1,848</b>	<b>17,075</b>	<b>9.2</b>

※支出をプラス、収入をマイナスで記載しています。

※合計欄における「平均」や「1施設当たり」、「㎡当たり」の項目の値は、全108施設での平均値や1施設当たりの値、㎡当たりの値を記載しています。